

南の風 For Junior86

南部地区ミニバスケットボール連盟
会長 藤原 敬一

令和4年度になりました。よろしくお願いします。2人サイドの二つ目のプレーです。

一つ目では、左側のコーナーの選手が左ウイングにバックスクリーンをかけたのですが、二つ目は左ウイングが右サイドからのパスにミートして合わせます。強くディナイされればすかさずバックカットで攻めます。ここではパスが通ったとします。同じくコーナーにいた選手がウイングからパスを受けます。ここも激しくディナイされればバックカットです。バックカットに対応されれば戻り、左ウイングとDHO(ドリブルハンドオフ)に切り替えます。ここもパスが成立したとします。パスした右ウイングは、コーナーの選手のDefにピンダウン(ダウンスクリーン)します。

コーナーにいた選手はスクリーンを利用して、ペイントドライブします。ピンダウンした選手と、ユーザー(左コーナーにいた選手)は、explosion(お互いが広がって)してダイブとドライブします。

このとき、右サイドのローポスト(センター)が動かないと、付いていたDefが左側からダイブした選手をヘルプしてしまうので、ダイブがあったらスロットラインに沿ってリフトして上がります。この「ダイブ&リフト」はオートマティックモーションの原則なので忘れないようにしましょう。

攻め切ることができなければ、リフトしたセンターにパス、元々トップにいた選手がポップしてセンターからのパスを受け、センターがトップの選手のDefにピックに行きます。このようにしてオートマティックモーションオフェンスを続行します。こうしてモーションを継続して、個々の判断で攻めます。

オプションプレーを一つ付け加えてまとめとします。

今回紹介したものは4アウト1インのアライメントでしたが、3アウト2イン(最も一般的なアライメント)のプレーで展開して見ます。※ミニバスやU15にお奨めです。

トップ1番、右ウイング2番、右ローポスト5番、左ウイング3番、左ローポスト4番とします。右サイドは1番、2番、5番とし、左サイドは3番、4番です。

プレーの始まりは1番が2番にパスして、リフトした5番の脇をUCLAカットします。5番が2番のDefにピックに行きます。2番はピックを利用してドライブし、5番ダイブしてゴールへカットします。このとき、逆サイドの4番がローポストに止まっていると、4番のDefが5番のダイブにヘルプしてしまいますので、必ずスロットラインをリフトすることが大事です。(u>ダイブ&リフト)

ダイブ&リフトは原則になりますから忘れないようにしましょう。

攻め切れなければ、前号で紹介したように1番にパスアウトして、5番のシールポストを使って攻めることもできます。

ここでは、左サイドの攻めと連動して見ます。5番のダイブに合わせて、4番がリフトするときに3番のDefにフレアースクリーン(バックスクリーン)をかけます。

ドライブした2番は、4番のフレアースクリーンを利用してカットした3番にパスします。4番はすぐに3番のDefにダウンスクリーン行きます。3番はスクリーンを使ってドライブします。その時右サイドのローポストにいた5番はリフトして上がります。

次号にします。